

令和3年度 第5回太田地域協議会会議録

令和4年3月23日

太田地域協議会

令和3年度 第5回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	5
■報告	5
(1) 令和3年度地域枠予算活用事業について	
(2) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査結果について	
■協議	8
(1) 学校統合アンケート結果に対する委員意見について	
(2) 大仙市東部エリアを軸とした“観光コンテンツの開発”について	
■その他	17
■閉会	18
■署名	19

令和3年度 第5回太田地域協議会 会議録

■日 時：令和4年3月23日 午前10時3分

■会 場：大仙市太田支所 2階会議室

■出席委員：7名

水谷 仁光、鈴木 賢一、倉田 吹紀子、熊谷 隆雄、
高橋 英子、佐藤 隆康、伊藤 和子

■欠席委員：5名

小松 江里子、藤本 重政、安達 京子、長澤 宏明、
佐々木 玲子

■出席職員：8名

野中 正幸（支所長）	藤澤 寿史（市民サービス課長）
黒澤 伸朗（農林建設課長）	田中 勲男（中仙・太田建設水道事務所長）
草薨 晶子（公民館長）	高橋 正人（地域活性化推進室主幹）
板谷 予理子（地域活性化推進室主任）	

※事業説明のため、次第6「協議」（2）のみ出席

山崎 兼人（観光振興課長）	鈴木 一徳（観光振興課主査）
---------------	----------------

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 報 告
 - (1) 令和3年度地域枠予算活用事業について
 - (2) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査結果について
- 6 協 議
 - (1) 学校統合アンケート結果に対する委員意見について
 - (2) 大仙市東部エリアを軸とした“観光コンテンツの開発”について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午前10時3分 開会)

○野中支所長（以下「支所長」と表記）

おはようございます。定刻となりましたので、第5回地域協議会を始めさせていただきますと思います。会議を始めます前に、本日は定数の半数以上の委員の方が出席しておりますので、会が成立することをご報告いたします。

なお、会議録作成のため、発言の際はマイクをご使用いただきますようお願いいたします。

それでは、会の進行を規定によりまして、会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○水谷仁光会長（以下「会長」と表記）

はい、皆さん大変お忙しいところありがとうございます。

大変春めいては来たんですけども、私の家の前の今朝の積雪が38センチぐらいでした。新しく田んぼを整備したところは、あぜ道が非常に高くなっていて、そろそろ出てきそうな雰囲気ですが、古いあぜ道はまだ一向に見えません。一年前の今日は、自分の家の前の積雪ゼロでした。自分の家も庭木の冬囲いもはずし終わっておりました。それから盆栽なんか動き出し始めまして、全部外に出さなければいけない状態でした。それだけ今年は冬が長いというか雪が多くて、皆さん苦勞したんだなというふうに思います。

今日は、色々盛りだくさんですので、一つよろしくお願ひいたします。それでは令和3年度第5回太田地域協議会を開催します。

なお、本日の会議の次第で、6（2）で、「大仙市東部エリアを軸とした“観光コンテンツの開発”について」の協議がありますが、その際、市の観光振興課が同席することになっておりますので、お知らせいたします。

また協議の方に入りますが、学校統合アンケートの結果に関する説明が事務局の方からあります。その際、それぞれ委員の皆さんから意見を求めることとなりますので、そちらもよろしくお願ひいたします。

いずれにしても、今日若干盛りだくさんになりますので、簡潔明瞭に進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、開会にあたりまして、野中支所長からごあいさつをお願ひいたします。

○支所長

本日は誠にお忙しいところ、第5回の地域協議会にご出席いただきましてありがとうございます。今日が令和3年度最後の地域協議会ということになります。

思い起こせば、本当に今年度は新型コロナウイルスというものに翻弄された年だったと

思います。現在3回目のワクチン接種が進められておりますし、5歳から11歳の子どもの希望者につきましては、3月12日と18日に1回目の接種が終わっております。強制ではないということですが、まず体質など特に問題がない方はできるだけ接種を受けていただければなと思っております。

それから前回の地域協議会以降の動きについて、お伝えしたいと思います。1点目ですが、新型コロナウイルスによるクラスターが太田地域にも発生したために、公共施設を閉鎖させていただきました。クラスターは1月末に保育園で、それから2月には小学校で、またクラスターではございませんけれども、太田支所内でも職員が2人感染したということで、2月の8日から13日まで太田地域の集会施設、それからスポーツ施設などの公共施設を閉鎖いたしました。翌日の新聞で、「太田地域の感染拡大のため」というような報道がなされたために、色々と心無い言葉をかけられた方もいたということで、そういった批判も聞かれましたが、それでもそれだけ逼迫した状況だったということは何とかがご理解いただきたいと思っております。

2点目として、第40回の「太田の火まつり」を2月5日に開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために雪中田植えだとか、紙風船上げ、餅つきといった飲食のイベントなどを中止いたしまして、かなり限定的な開催といたしましたが、実行委員会の皆さんと関係各所のご協力によりまして、なんとか無事開催されました。子どもたちの願いが込められた紙風船は夜空に飛ばすことができませんでしたが、まず神事でお祓いしまして、天筆とともにお焚き上げしたということでございますので、新型コロナウイルスについてもきっと終息に向かうと、そう期待しております。

3点目、3月1日に大仙市の技能功労者表彰式が大曲エンパイヤホテルで開催されました。太田地域からは横沢の藤谷知義さんが建築大工としての技能功労者表彰を受けました。もう既に広報にも載っておりますので、皆さんおわかりのことと思っております。藤谷さんの宮大工だとか、組子細工の技法を取り入れた技能が評価されたと思っております。藤谷さんは家業の他にも、若い時から消防団に入りまして、現在は太田支団の支団長を務めております。これからはますます活躍してくれることを期待しています。

4点目、3月16日の深夜に発生した地震についてです。大仙市は大曲と仙北で最大震度5弱という強い揺れを感じました。太田地域については震度4ということでしたけれども、非常に長い揺れを感じたと思っております。幸い地震による停電もなかったし、被害はほとんどなくて、市内の公共施設の一部で破損があったようですけれども、報道のとおり宮城県ですとか福島県の方では、最大震度6強も記録しましたし、今も断水が広範囲にわたっているようでございます。市の上下水道局では日本水道協会の東北支部から要請がありまして、宮城県栗原市に給水車1台と職員2名を派遣しているということです。昨年もやはり2月に同様の地震がありましたし、いつでも対応できるように、行政は当然でありますけれども、各自治組織だとか自主防災組織の皆さんにも日ごろから訓練だとか話し合いをしてもらいたいなと改めて思ったところであります。

5点目、3月17日の深夜に支所のすぐ向かいの高齢者の一人暮らしのお宅で火災が発生して、大変心配をいたしました。何とか住民は避難をされたようでしたので、その点

は良かったなと思っております。これから雪解けが進みますと乾燥しますので、何とか皆さんも火災には気をつけていただきたいと思います。

次に3月議会のことを若干報告させていただきます。3月18日に閉会しましたが、令和4年度の市の当初予算が審議されまして、一般会計では前年度に比べまして11億円増の432億円の当初予算が可決されたところでございます。今日は最後の方に太田支所各課の主要事業の報告がございまして、私の方からは今後3年間の大きな流れだけちょっとお知らせをしたいと思います。

来年度以降の大きな流れとして、複数年にわたるものとしましては、中里温泉の大規模改修、それからこの後説明もあります、大仙市東部エリア観光ビジョンの策定と観光コンテンツの整備、横沢公園を活用した地域活性化、それから大台スキー場ふれあいの里の整備、こういった事業が予定されております。概ね3年程度、もしくはそれ以上の長さになってくると思っておりますけれども、市内の観光の東の拠点ということで整備活用される予定となっております。委員の皆様から第2回の協議会の際に提案していただきました夏場の活用案などが形となって具体化されていく可能性が見えてきたところだと思っております。また、文化財関係では、鈴木空如の法隆寺壁画模写の第1作の表装作業が来年度から実施されまして、5年ほどかけて完成する予定です。そうなれば3作目と一緒に毎年皆さんに見ていただく機会もできるかと思っております。それから来年度で完了する事業としましては、文化プラザの内部改修、グラウンド・ゴルフ場の隣接の遊具の更新が決定しております。

小学校の統合につきましては、後でアンケート結果を報告いたしますが、その結果に基づいて市の教育委員会がいよいよ統合について動き出すという方針を掲げております。中仙の例を申し上げますと、だいたいアンケート調査が終わって統合が決定すると1年ぐらいで、議論が終わります。その後2年ぐらいは開設のための準備ということで、校章や校歌、学校名などを決めたり、あとはどのように移転するかなど、様々な事務的な手続きなどが2年ぐらいかけて行われます。そしてアンケートが終わってから4年目の春に統合するというようなパターンで来ているようです。なので、令和7年度の春にはもしかしたら統合されているかもしれません。これはまだはっきりとはわかりませんが、特に校舎を建てるだとかそういうことになれば、もっと時間がかかると思います。いずれにしても子どもが少なくなっているという状況を考えれば、おそらく3年ぐらいの間で1校に統合されるのかなと思われまます。

ということで今老松市長が2期目になってから非常に太田地域にウエイトを置いた事業が展開されようとしております。市長協議などで直接お話しする機会もございましてけれども、市長には太田地域の観光に対する思いに半端ではない熱量があります。我々職員に発破をかける勢いでございますから、職員が頑張るのは当然でありますけれども、こういうふうにした方がいいとかそういうものは地元の人意見を聞く機会が非常に大切だと思っておりますので、何とか協議会の皆様には、いろいろとご迷惑をかけるかもしれませんが、どうか職員も皆さんと一緒にまちづくりに励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

それから最後になりますが、議会の最後の方で、西山副市長が今月末で任期満了で、後

任人事ということで、現上下水道事業管理者の今野功成さんという方が副市長に就任し、現総務部の舛谷部長が今度は上下水道事業管理者になると決定したようでございます。今野さんにつきましては、南外村役場の採用で職員としては市の総務部長で退職し、その後上下水道事業管理者をやってきた方でございます。皆さんにいつか挨拶に来ることもあろうかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上、議会の話題をお伝えしましたが、今、社会情勢がこのとおりに非常に暗い状況になってきましたが、春が来たということで、明るい話題を太田地域の中に作っていければなと思っております。地域協議会の委員の皆様から、忌憚のないご意見をいただきながら、今後も邁進していきたいと思ひますのでどうぞよろしくお願ひいたします。本日も盛りだくさんでございますが、最後まで皆さんそれぞれご発言をよろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは次に、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。会議録署名委員には熊谷隆雄委員、高橋英子委員にお願ひをいたします。

次に次第5「報告」に入ります。(1)「令和3年度地域枠予算活用事業について」、事務局から報告をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【令和3年度地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【①行政主導型】

1 奥羽山荘敷地内倒木撤去事業

事業目的：奥羽山荘正面入り口の県民歌碑脇にあるアカマツ林の1本が倒れてしまったため、敷地の管理に支障があることから撤去することを目的とする。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：29,700円

2 中里温泉敷地内啓発標語看板修繕事業

事業目的：啓発標語看板4面のうちの1面が脱落しており、強風により他の3面も吹き飛ばされる恐れがあることから、修繕し被害の拡大を防止することを目的とする。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：45,210円

3 ふるさと啓発パンフレット「おおた風土記抄」発行事業

事業目的：「子どもに太田の歴史を学ばせるためのパンフレットはないか」という市

民からの相談をきっかけとして、パンフレットを作成・配布することで、子どもたちにふるさとの歴史について学んでもらう機会を提供することを目的とする。

申請団体：太田公民館

申請額：221,000円

・実施類型【②市民協働型】

4 太田の紙風船等伝承事業

事業目的：太田地域内の集落や学校をはじめとした各種団体に紙風船づくりの技術を伝え、紙風船上げの伝統文化を次代に継承することで地域を活性化させることを目的とする。

申請団体：太田の自然・農村資源の利用を考える会

申請額：200,000円

・実施類型【④地域イベント応援型】

5 太田の火まつり開催事業

事業目的：住民参加型のイベントを開催し、五穀豊穰・無病息災を願う太田地域の小正月行事として定着・伝承させていくことを目的とする。

申請団体：太田の火まつり実行委員会

申請額：900,000円

○会長

はい、ただ今事務局の方から報告がありました。皆様から質問等ありましたらお願いいたします。

(特になし)

それでは、ないようですので、質疑を終わります。

なお、地域協議会は、市が決定した市民協働型、市民主導型、地域イベント応援型について、報告された内容によっては、意見を附すことになっております。今回、市民協働型1件、地域イベント応援型1件の報告がありましたが、申請団体に対して改善を求める点などのご意見はございますか。

(特になし)

それでは、ないようですので、報告の(1)を終わります。

次に(2)「大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査結果について」事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

【大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査結果について説明】

事業名称：田舎を活かす多世代・他地域交流拠点整備事業

申請団体：地域公共を考える市民の会（代表 男鹿 きみこ氏）

事業費：7, 147, 811円

申請額：5, 000, 000円

事業目的：地域内での世代間交流から地域外の若者との交流までを実現するために、地域内外の人たちが交流できる拠点となる「居場所」を作ることで、それぞれの困りごとと生きがいをマッチングし、人と人とのつながりが生む「地域力」を取り戻すことを目的とする。

事業内容：太田地域の空き家を「地域の居場所」とするために、地域交流のための活動ができる部屋や、食事提供ができる台所等を整備し、農家民宿としても活用できるよう改修する。

審査結果：採択

○会長

はい、ただいま報告をしていただきました。

実は私も審査会に参加しまして、ちょっとだけ感想を言わせていただきます。申請者の方が一番困ったことは火災報知機が手に入らなかったことだそうです。今は注文してもなかなか来ないんだそうです。火災報知器がないと人を泊めるとか、食事を提供したりできないみたいで、色々相談してスケジュールを作成したようです。

それから、皆さんの意見で出てきたのは、本人はやる気満々なんだけど、500万円という補助金をもらって事業をやろうとしているわけなので、申請団体の中に監事役を設けた方がいいということです。あとは農業ボランティアって話が出ましたけども、今年度分もだいたい決まっているという話でした。大学生を農家に派遣するんだけど、やがては定住に繋げて行ってほしいという意見が各委員から出ました。

あとは私の方からは、この地域ではこういった事業先駆者というのはなかなか現れなくて、やっと現れてくれたので、地域を挙げて応援をしていきたいと思います。1人で悩まないで、自分たちが困っていることややりたいことを、市に相談するなりして、「こういうことやっているよ」というのを情報発信していくのが大事だと思いますので、お願いしたいと思います。それからそこを拠点として活動するのは非常にいいんだけども、あんまり固執しないで、例えばこれから横沢公園が整備されますので、比較的近くて、野球場なりスポーツエリアもありますので、そういったところも活用しながらやってほしいなと思いました。

審査結果については、一番点数の高い方で50点満点の45点でした。一番低い人で28点。その人はなぜその点数なのかというと、熱意は感じるし、しっかりと考えを持って

やっているのはわかるんだけど、プレゼンの内容があまりにも盛りだくさんで、一番伝えたいことが少しわかりにくいような感じだということでした。

最後に、この地域でこういうのをやっていくということが決まっていますので、いずれはこの地域協議会でも1回は見に行ったり、可能であればご飯を食べに行ったりするのもいいのかなというふうに思いました。私の方からは、以上でございます。この事業について皆さんからご意見やご質問はありますか。

○高橋英子委員（以下「高橋委員」と表記）

翌年度以降のスケジュールとして、「自宅のような集会所として、茶飲みや相談スペースを提供」と書いてあるんですけども、その施設ができたときには、地域の人たちも借りたりして、何か集まりなどをやってもいいような施設なんではないでしょうか。

○事務局

男鹿さんに相談していただければ、駄目とは言わないと思いますので、せっかく作るのでみんなで活用していただければと思います。

○会長

はい、他になれば報告の（2）を終わりたいと思います。

いずれ何か事業が始まったときには、お知らせがあると思いますので、その時にまた具体的なことを聞けると思いますので、よろしくをお願いします。

それでは次に、次第6「協議」に入ります。（1）「学校統合アンケートの結果に関する委員意見について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

【学校統合アンケート結果について説明】

対象者：太田地域の小学校、認定子ども園の保護者 281人（回答率89%）

期 間：令和3年12月13日～12月17日

（1）お子さんが通学している（又は通学することになる）小学校の統合について、どのようにお考えですか？

○できるだけ早く（すぐにでも）統合した方がよい 60.2%

○いずれ統合は必要だが、しばらくこのままでよい（10年程度） 19.5%

○どちらとも言えない 15.9%

○統合は必要ない 4.0%

○無回答 0.4%

（2）仮に、小学校を統合する場合、どのような統合がいいと思いますか。

○太田地域の3小学校を1校に統合する 91.0%

○その他 9.0%

○会長

はい、ありがとうございました。今事務局の方から説明がありましたけども、皆様から意見がありましたら述べてもらいたいと思います。1人ずつ順番にお願いします。まずは熊谷委員からお願いします。

○熊谷隆雄委員

はい、熊谷です。小学校の統合ということで、アンケートの結果を見ますと前回よりも「統合を進めた方がいい」という意見が強くなってきているようでございますけれども、私としては統合はもう少し早く検討して進めることができればよかったのかなとも思っているところであります。色々問題点があるかと思っておりますけれども、課題をクリアしながら統合していく方向に舵を切って進めていくのが望ましいのかなと思っております。

ただ、慎重な意見もあるようですので、統合を先行して進めたところもございまして、そういったところで統合を進めていったり統合をした後に、こういう点が良くなかったとか、そういう情報を得て対応策が取れるようであれば、そういうことも考慮しながら進めていくのがいいのかなと思っております。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。それでは倉田委員お願いします。

○倉田吹紀子委員

基本的には熊谷さんと同じ意見です。私は幼稚園と保育園の統合のときに携わらせていただきました。その合併よりも先に小学校の統合の話題がすでに出てきましたし、今の資料にあるように、それだけ学校は時間と地域の皆さんの意見を大事にして、今に至っているんだなと思っているところです。

子どもさんが減少していく中で、私が前回感じたことは、現に今利用されている親御さんは、教育的にもいろんなことに前向きなんですけども、やはり卒業した方や地域の皆さんは、やっぱりイメージできない部分があって、地域から子どもの声をなくしたくないという温かい想いからなんですけども、現状のままを求める方が多かったです。小学校に関してはこれだけアンケートなど、これまでも長い時間をかけてきましたので、実際やっぱり他地域のことも考えますと、やっぱりそれは求められているのかなと思っております。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。次、高橋委員お願いします。

○高橋委員

将来、一学年が5人とかってなれば、その子どもたちは競争する機会も少なく、幼稚園では30人もいて皆でワイワイやっていたのが、別々の小学校に行って勉強するようになったら、その子どもたちって、やっぱり割とのほほんとしたような大人になるのかな、なんて思うこともあります。やっぱり実際学校が土日休みになって、そのときの子どもたちが前にいた職場でも結構いたんですけれども、やっぱりすごいんびりしたような、ちょっと言えば休んでしまうような、心まで病んでしまうような感じの人が多かったのかなと思います。

やっぱり部活動でもなんでも大人数での活動が、5人とかってなるとできなくなると思うので、やっぱり今こういう話が出て要望もあるうちに頑張っって統合した方がいいのではないかなと思います。幼稚園で一緒だった友達と、小学校が分かれても一緒に遊んだりしているようなので、やっぱり統合しても子どもたちは何も問題がないのかなと思います。以上です。

○会長

はい、次は佐藤委員お願いします。

○佐藤隆康委員

私も皆様の意見と同じような考え方です。まず、子どもたちにとって何が一番理想的なのかっていうのを考えるべきで、目的をしっかりと明確にして、統合に向けて行動していった方がいいんじゃないかと思います。自分はもう子育て終わってしまったんですけど、実際の教育現場っていうのは学校の中ですので、父兄とか学校の先生たちが今どのように思っているのかっていうのを、考え方をしっかりとまとめて、統合に向けた方向に進めていったらいいんじゃないかと考えています。やっぱり子どもの将来を考えての統合ということでありますので、その辺をきちっと明確にしておいた方が進みやすいんじゃないかと思います。以上です。

○会長

はい、ありがとうございます。次は、伊藤委員お願いします。

○伊藤和子委員

私も同じ考えで、統合は早めにやった方がいいと思います。子どもたちも少なくなってきているし、学校の部活とかも考えると人数が多い方がいいと思うし、楽しく集団生活ができる方がいいと思います。慎重に考えている方もいると思いますが、地域や子どもさんのことを考えると統合がいいと思います。

○会長

はい、それでは鈴木委員お願いします。

○鈴木賢一委員（以下「鈴木委員」と表記）

はい、鈴木です。アンケートの結果を見ると、意見を大変良く聞き取ってくれているなと思います。このとおりじゃないかなと思っています。令和9年度までの児童数が載っていますが、令和9年度の小学校1年生から6年生までのトータルで146人しかいなくなるということは、令和12年ぐらいになると、中学校が全校で50人とか60人にしかなくなるということです。そうすると、この意見にもあるとおり、太田だけの統合でいいのか、そのうちまたどうするっていう話になっちゃうんじゃないかと、先を見てちゃんと考えているなっていうのを感じました。

慎重な意見に関しても、結局「統合した方がいいんじゃないか」という意見でまとまったとしても、結局誰が決めるのか、誰が音頭とってくれるのかという話になってくると思うので、これもまた市長だとか議会だとか教育委員会だとかが率先して案を出して、その案についてのアンケートを出してくれればいいというのも、もっともな話なんだと思います。

私個人的な意見では、小中まとめて新しいところに建てるっていうのが良いと思います。中学校も古くなってきているので、ちょうど良い機会になるのかな、なんて個人的には思っています。以上です。

○会長

ありがとうございました。最後になりますが、私の方から。私の考えはちょっと変わっているかもしれないんですけど、これだけアンケート取って、皆さんが考えているとおりで、今何をしなければならないのかっていうことじゃないかなと。どういうことかという、私の考えでは、まず統合することは決まっているというか、将来的には絶対やらなければいけないことだと思います。だとすれば、いつやるかです。これはいつやるとしても、必ずいろんな意見が出てきますので、私なりに思うのは、例えば太田地域のことを考えると、小学校は6教室あれば、極端な話、全生徒が入ることはできます。だとすれば、どの学校に入れば一番費用がかからないのかということです。例えば、北小に入れると一番費用がかかるとすれば、それだけのお金をかけてでもそこを改修してやることではないと思います。

仙北だとか中仙の学校と統合するだとか、新しく建てるという話も出ましたけども、先ほど支所長がお話したように、統合まで4年とか5年かかるとすると、その間にも子どもたちが減っていくというのは目に見えていますから、極端な話、とりあえず来年の春からでも何も改修しなくても入れる場所だったらそこで皆勉強したっていいんじゃないかと。ただ減るのは先生の数と校長先生の数だけです。そういう考えもあってもいいんじゃないかと思っています。

そして、その上でこのように統合を進めるという方針が決まったら、その後でどこにするというふうに本格的に考えていくものじゃないかと思っています。そういう基本方針を市の方できっちり示すことだと思うんですよ。それが無いから、何回もアンケートを取っても同じようなことを話し合っているんで、「そろそろやらなきゃな」じゃなくて、スピード

を持ってやらないと、子どもたちが年々少なくなっていくのは目に見えてますから。だから、小学校の統合に関しては、まずきっちりとした目標を持って、教育委員会が方針を示してすぐ取り掛かることだと思います。それから議論する時間や建設する時間というのはかかるものですから、その間でまた考えればいいと思います。言い方は悪いですけど、そういう対症療法のような方法が一番のとりあえずの解決方法じゃないかなというのが私の考えです。

息子たちとも話をしたんですけども、こういう資料を何回も見たので、これはいつやっただっていろんな考えが出てくるのが当たり前で、早く決めてくれればいいなという話でした。例えば、5年後なら5年後、10年後なら10年後にここに建てますと言ってくれば、自分たちの腹も決まるし、遠くてだめなら別に引っ越すこともできるので、それも有り得るという話でした。だから、やっぱり色々なことが決まらないうちは、話し合ってもなかなか上手くいかないと思います。以上です。

○支所長

ありがとうございました。皆様からのご意見、本当にもっともだなと思いました。やっど動くということになりましたけども、順調に進んでも、あいさつで言ったとおり、だいたい1年で内容を検討して次の2年で開校準備だろうかと思います。さっき会長が言ったとおり、私もお金をかけて建物を新しく建てるっていうのは非常に難しいなというのが正直なところで、できれば3校あるうちのどこかで、やっぱりそうなってくると中心に近いところなのかなと思うんですが、その校舎を使って3校を1校に統合するというのが一番現実的なのかなと思います。

小学校は地域で維持したいというのが正直なところですが、中学校レベルになるとやっぱりたくさん人が集まって切磋琢磨し合うというのが大切だと思いますので、あとはこの地域をどうしていくかとの兼ね合いになっていきますけども、そういった議論をしていかなければならない変わり目の時代に今いるのかなと思います。以上でございます。

○会長

いずれこの学校統合について進めていくという方針は決まっていますので、良い学校のあり方のためにはどういった方法がいいのかっていう議論はいくらでもした方がいいと思いますので、今後も子どもたちのことを考えながら、皆さんからまた意見を求める機会があると思いますのでよろしくお願いをしたいと思います。

これで協議の(1)を終わります。

それではここで一旦休憩に入ります。20分から再開したいと思いますので、よろしくお願ひします。

(午前11時18分 休憩)

(午前11時21分 再開)

○会長

それでは再開いたします。

次第6(2)「大仙市東部エリアを軸とした“観光コンテンツの開発”について」、説明をお願いいたします。

○支所長

それでは説明は私からさせていただきますけれども、今日は本庁の担当の皆様からおいでいただきました。それではご紹介いたします。

本庁の観光文化スポーツ部観光振興課の山崎課長でございます。

(山崎課長あいさつ)

それから同じ課の鈴木主査でございます。

(鈴木主査あいさつ)

というわけで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

今から説明いたします、東部エリア観光ビジョンの関係では、本当にお世話になります。また、グラウンド・ゴルフ場の遊具についても皆様からいろいろご意見をいただきましたが、そちらの方も担当されるということですので、何とか皆さんからいろいろと忌憚のないご意見などをいただければと思ひます。では座って説明させていただきます。

今日は資料としまして資料6と書いてある1枚ものの紙と、それから皆さんにこのカラーの第3次大仙市観光振興計画概要版について、1枚お渡しさせていただきます。

大仙市の方では、第3次観光振興計画というものを昨年の3月に作ってございます。基本方針としては「知ってもらおう!」、これはプロモーションの強化、そして「来てもらおう!」、受け入れ体制を整備するというところでございます。それから「満足してもらおう♪」、そのための観光コンテンツを開発するというところで、三つの柱を持っております。大仙市には、もう既に全国ブランドであります「大曲の花火」がございまして、ですが、いくら春、夏、秋、そして新作花火とやっても、一日で終わってしまつて観光客の皆さんはそれを見て帰ってしまう、もしくは大仙市以外のところに宿泊して、大仙市ではその時だけの滞在になってしまうということから、それ以外の自然だとか、農だとか、それから文化的なものだとか、もしくは大仙市にはスポーツの施設もたくさんありますので、そういったものを活かしながら、滞在期間を延ばしてもらつて、そして観光の消費を増やしてもらつてという考え方で、新しい観光振興計画を作らせていただいております。

この観光振興計画概要版の裏面に22のアクションプランというのを書いてございます。その中でも一番我々に関係のあるところが、「満足してもらおう♪」というところで、16番に「真木真昼県立自然公園と周辺の自然を活用した誘客事業」という項目がござい

す。大仙市の東部に位置します真木真昼県立自然公園は、まだまだ県内外に対する知名度は低いと思われますので、こちらの認知度を上げたいと考えています。大台スキー場だとか、奥羽山荘、グラウンド・ゴルフ場そして令和6年度には中里温泉もリニューアルしますので、そういった様々な魅力的なアイコンを活かして情報発信を行い、観光施設に滞在してもらうということを狙っているものでございます。

令和4年度につきましては、あいさつでも若干お話ししましたが、東部エリア観光ビジョンを策定するという事になってございます。これは真木真昼県立自然公園を中心としまして、その裾野の部分だとか、太田だけでなく中仙や仙北にもいいところがありますので、そういったものも含めまして大仙市の東部エリアの観光ビジョンを策定する予定でございます。また、これを策定するにあたっては、様々な会社さんのご意見を聞いたり、もしくはその会社さん側のベンチャーを組んでいただいたりして、我々に計画を出してもらうという話になりますが、以前の会議で委員の皆様からご検討いただきました、夏場の活用策ですとか、ああいった色々なメニューを検討して観光ビジョンを策定する、もしくは今流行りの観光のコンテンツなどについても様々な意見をいただきながら、ビジョンを策定するという事になります。これによりまして、今は大台スキー場は冬、そして山は夏場というそれぞれの季節に対応したものとなっておりますけれども、通年で観光客を呼び込めるような観光施策を実施することになります。

令和4年度はそのビジョン作りと、あとは観光コンテンツというものの様々な可能性を探るといったことをしていくと思います。令和5年度につきましては、その内容に基づきながら、いよいよコンテンツの整備ということになっていきますので、ハード事業も含めた流れとなっていくかと思っております。これについてはまだ具体的なことを申し上げることはできませんけれども、先ほども言ったように、老松市長の二期目の期間で、太田地域もしくはこの東部地域に非常に目をかけてもらっていると思いますので、何とか熱意には応えていきたいなと思っております。

もう一つ、グラウンド・ゴルフ場の遊具の設置でありますけれども、昨年から遊具が使えなくなっているということで皆様からもいろんなご意見をいただきました。現在ある遊具は木製の遊具で平成7年度にできたものでございますが、これは今のところ撤去したいと考えております。インクルーシブという言葉がありますが、障害者の方だとか、身体の不自由な方も使えるような遊具っていうのが最近出来てきておりまして、それを新たに設置したいと考えております。実際にモリボの里の動物舎には、小学生や幼稚園の子どもたちがたくさん来ておりまして、その足で森の中を抜けて、グラウンド・ゴルフ場の芝生の方に行ったりして、ご飯食べたりはしているようですが、せっかくの遊具が使えないという意見もありましたので、きちんとしたものを作りたいと思っております。さっき言ったとおり、これは単年度の事業で令和4年度内に実施いたします。春になったらすぐに、子どもさんたちや保護者の皆様に遊具選定のためのアンケートをやりたいと思っております。もちろん子どもに聞いても、具体的な案はなかなか出ないと思いますが、できれば大型の遊具、例えば神岡の公園の方にもあるような遊具を検討しております。また、それ以外にもグラウンド・ゴルフ場の遊歩道を活用しまして、タニタの今我々が持っている活動

量計を活用できるような仕組みなども考えていきたいと思ひます。

いづれにしても令和4年度から、観光ビジョンの整備も進めてまいりたいと思ひております。皆さんに説明するのは今日が初めてですので、今後皆さんも含めて大仙市の市民の皆さんですとか、現在大台スキー場を利用している方々などと協議を重ねて、よりよいものにしていきたいと思ひておりますので、どうか皆さんのご協力とご理解をよろしくお願ひしたいと思ひます。簡単ですが私からの説明は以上となります。

○会長

はい、ただいま説明がありました。皆様からもうちょっと聞いてみたいことがありましたらお願ひしたいと思ひます。はい、鈴木委員お願ひします。

○鈴木委員

今説明いただきましたけども、観光誘客事業を行うということですが、今現在の進行状況というか、今のところ考えているものはありますか。

○支所長

まだ具体的なものは出ていないんですが、既に動いているものとしては、以前にもお話ししましたが、大台スキー場付近の古くなってしまったキャンプ場の撤去だとか、そこを新たに整地して芝生を張るということや、もしくは遊歩道が大分傷んできているので、もう少し下の方から歩けるように直すとか、そういったものはもう具体的に動いております。

ただ、あと何がここの東部エリアで必要なのか、もしくは県立自然公園の中で活用できるものがあるのかということについては、これから具体的なものを決める予定です。観光振興課の方では何かありますか。

○山崎観光振興課長

観光振興課の山崎と申します。鈴木委員のご質問に対して支所長がご回答されましたけども、若干補足という形で説明させていただきます。

今、支所長の方からもお話があったとおり、具体的な中身についてはこれからプロポーザルをかけまして、いろんな知見を持っている業者さんの方からのご意見を踏まえて作っていきたくて考えています。現時点で市長協議では三つのポイントを説明してまして、「持続可能な施設運営に関する提案」、そして「地域に人を呼び込むための工夫に関する提案」、そして「関係団体・地元企業様との連携に関する提案」をしていただきたく考えています。私どもとしては、真木真昼県立自然公園を要として大台スキー場、中里エリア、仙北エリア、中仙エリアというふうに大曲地域の方までぐるっと扇の形のような形で広げていくという考えで業者を選定していきたくて考えております。鈴木委員のご質問に対して直接の回答になっておりませんが、こういった思いで作り込んでいきたくて考えて進めております。以上でございます。

○会長

はい、ありがとうございます。私の方からもよろしいでしょうか。

人を呼び込むというのは非常に大切なことだと思います。せっかく作っても誰も来なかったら意味ないですから、人を呼ぼうと思って作るのだからやっぱり人が来るようなものを作らなきゃいけないと思います。例えば、モリボの里なんかはもう宝の持ち腐れのような感じで、ほとんど機能していないというか、せっかく20人くらい入れる会議室があるのにあまり使われていないようだし、それに動物も少ないので、子どもたちの好きな小動物もおくといいと思います。あとは、そこから歩ける遊歩道があるんですけど、あそこも子どもたちが楽しめるようなことを考えていかなければいけないのかなと思います。

それから、今支所長から話のあったグラウンド・ゴルフ場をぐるっと回れる2kmくらいの遊歩道があります。ただ、その周りにはトイレもありますし、水道もありますし、休める場所もバーベキューグリルもあります。遊具は修繕をするというのはわかりましたけど、そういうのを整備できる流れを作って行かないと、すごくいいのものができたとしても、やってみたらトイレも使えない、水道も出てこないとか、藪で全然入っていけないとか、そういうことのないような流れを作っていかなければいけないのかなって思います。

これからまた、方向性が決まればまたアンケートなり意見を聞かれることもあると思いますので、その都度教えていただければ大変ありがたいなと思います。私も思うには、市職員だけではこの事業はできないと思います。大仙市だけでもできないので、外部の力を借りるしかないと思います。ですから知見を持った人の意見を聞いたり、手を借りながら一緒にやっていく方法を考えれば最高にいいのかなと思います。以上です。

○支所長

ありがとうございます。我々はプロではないので、そういった県外・市外からお客を呼び込むということになりますと、どうしても外からの目線が必要になるのかなと思います。先ほど会長に言われたとおり、そういった方の目で見えた太田地域の活かし方というものも必要だと思いますので、今後色々なご意見をいただければと思います。他に何か委員の皆さんでございせんか。

○高橋委員

コロナの影響で外出する機会も少なくなっているので、今がチャンスだと思います。遊具もせっかく直すので、バーベキューハウスも、子どもたちに壁画みたいなのを描いてもらったり、作品を飾ったりして、あまりお金のかからないようにして直せばいいと思います。うちの子どもたちも、仙南のキャンプ場などに2泊とかで、家要らないんじゃないかというくらい行くので、そんなふうに行きたくなるようなところを作ってもらえたらいいと思います。

私たちも、あそこのバーベキューハウスには何回も焼肉をやり子どもたちを連れて行っていました。今は皆行かなくなっていて、壊れたという話もありましたけども、私が仕事をしていた時は、最初は大曲の方の人もちよっと遠くて代行で行くには高いと言っているん

だけど、お酒を飲まない人が一人いると、そこで焼き肉を食べればすごく安くできるんですよ。地元の酒屋さんに頼んだり、持って来てもらってりして。せっかく大仙市になったので、山の方にもそういうところがあるんだよって、なんで山に行かなきゃなんて言っているんですけども、来てみたらすごく良いところだったなと言っただけで何回も来てくれる人もいたので、やっぱり残したいなと思っています。私も最初にあそこを立ち上げるときに、職員の人たちとこうやってやろうとか話し合っただけで、すごく思い入れがあります。子どもたちのものって、学校とか保育園とかで描いた絵をどこかのデパートとかで展示したら、必ず見に行きたくなりますよね。だったら地域の小学校の子どもたちが壁画でも描いたり、焼肉を食べている絵とか写真を飾ったりして、そうすれば畜産とも連携していくので、そういうところもあればいいのかなと思います。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。非常に厳しい言い方をすると、旧太田町の時は奥羽山荘でも山でもバーベキューグリルも全部手入れ出来ていましたよね。ところが大仙市になったら、全部手をかけないでしまってボロボロになってしまって残念です。誰が悪いとかじゃなくて、市民の我々も悪かったんだと思います。だから我々も気づいたことを支所の方に伝えて、皆で案を出して良い方向に持っていけば上手く行ったと思います。

でも今度は新しく作るということですから、今観光振興課長さんが言ってくれたように、自分たちが背伸びしても届かない立派なものを最初に作っても、これは継続できませんとなれば大変ですので、身の丈にあった継続できるものを、皆からこのくらいだったらできるなど、支所でも本庁でも管理できるなどというものを作ってもらいたいです。ただ金掛ければいいんじゃないかと、キラリと光るものを作って、他と同じものじゃなくてもいいし同じでもいいから、なおかつ輝くようなものを作ってほしいなというのが私の願いです。以上です。

他に皆さんからありますか。

(特になし)

それでは支所長から最後をお願いします。

○支所長

ありがとうございました。さっき会長の言った、キラリと光る、これが大切だと思えます。なので太田の中に継続可能で、そしてキラリと光る、他から見ても「あそこに行けばあれがある」というものを何とか作っていきたいなと思っています。よろしく願いいたしたいと思っています。

○会長

それでは(2)の協議を終わります。ここで観光振興課の職員の皆さんは退席となります

すので、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

(観光振興課職員 退席)

それでは次に「その他」に入ります。委員の皆さんから、地域情報の提供など何かございませんか。

それではうちの方の集落の話ですけども、冬の行事は2月26日に風船を5個上げました。それから雪中田植えを、コロナの関係で夜ではなく日中やりました。そういった具合で無事終わりましたが、来年は全てのを新調しなければいけないので、できれば地域予算を使わせてもらいたいなという案が出てまいりました。以上です。

それでは次に、「令和4年度太田支所主要事業について、各課から説明をお願いいたします。

【令和4年度太田支所主要事業について、各課から説明】

はい、ありがとうございました。各課から令和4年度の太田支所主要事業について説明ありましたけども、皆さんの方から質問等ございますか。

(特になし)

それでは、事務局から何かございますか。

○事務局

来年度の地域協議会は6回を予定しておりまして、1回目は5月の田植え前に実施したいと考えているところです。

○会長

ありがとうございました。それでは以上をもちまして会議を終了いたします。今回で今年度の地域協議会は全て終了となりますが、委員の皆様には毎回お忙しいところ出席いただきましてありがとうございます。来年も引き続き、どうかよろしくをお願いいたします。本日は若干時間の配分を間違えまして、時間を押したことをお詫び申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

(午後0時7分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

熊谷 隆雄

高橋 英子
